

## 世界を知り尽くした Jewelry Okamura

### 岡村 龍哉の宝石紀行「オーストラリア」編（2004）

関西空港から オーストラリア へ向かった。今回の目的はニューサウスウェールズ州の北部 ライトニングリッジ への オパール の買付けが目的だ。折角、 オーストラリア（面積：7,686,850Km<sup>2</sup>、人口：約2000万人） への買付けなので、北から南へ旅をしようと思い、まずは、オーストラリア東北部の ケアンズ国際空港 へ 約8時間 で辿り着いた。



クイーンズランド州北部の ケアンズ（約14万人） へは、マリンスポーツが目的だ。まずは、ユネスコの世界遺産（自然遺産）にも登録されている グレートバリアリーフ の美しく雄大な珊瑚礁を見るべく潜水服に着替えて、スキューバダイビング。白化現象が起こっているとはいえ、日本の海では考えられない透明度だ。世界最大のエイであるオニイトマキエイの 「マンタ」 に出会えた。（マンタは学名）いつもは競泳をするのだが、あまりにも海が綺麗なため、スキューバダイビングとシュノーケルで海中を観察した。海を楽しんだ後は空を遊泳すべくスカイダイビングを興じた。



余談だが、是非ケアンズへ訪れた際には、[タリー川](#) での [ラフティング](#) をお勧めする。1日を終えると真っ黒に日焼けし、忘れられない思い出になるだろう。(外国人グループに参加すること) 海を満喫したので、次ぎは山だ。(厳密に言うと岩だが・・・)



世界遺産（自然遺産）に登録されている **エアーズロック**（先住民**アボリジニ**の人たちは、ウルル=大地のへそ。と呼ぶ）を体感すべく、オーストラリアの中央地域、**ノーザンテリトリー（約20万人）** へ向かった。空港に着くと車で宿泊先のエアーズロックリゾートへ。

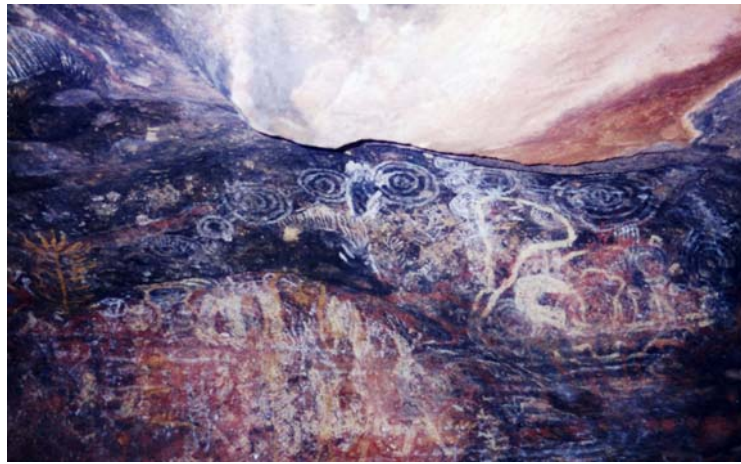




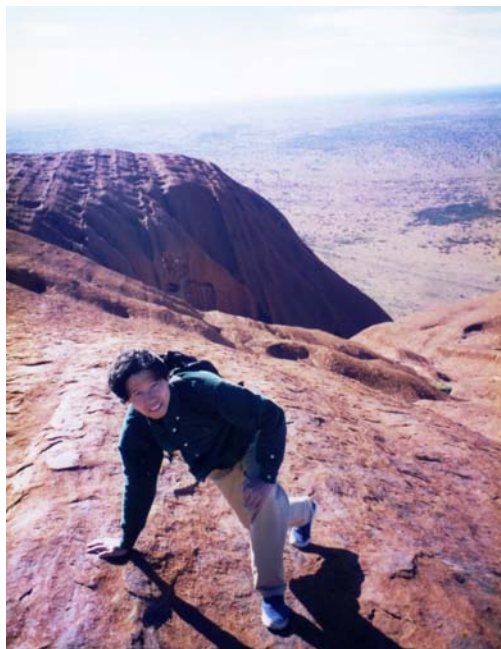
砂ほこりが半端ではなく、**花**を感じることの無い乾燥地帯だ。ホテルに到着すると直ぐに競泳。エアーズロックに登る日までにエアーズロックの**サンセット**と**サンライズ**を楽しもう！



オーストラリアワインと夕食を頂きながらの**サンセット**とのゆったりとした経過は、時間がゆっくりと刻む音を感じさせ、また、温かいカフェオレを頂きながらの**サンライズ**の幻想的な光景は、明日への活力を体の底から充電させてくれた。



登山当日、登山を快く受諾させる天気、快晴だ。



岡村は高所恐怖症なので、途中までと思って登山を始めたが、誰も途中下山する人は居ない。勢い余り、最終的には **頂上** まで登山していた。



東西南北の 4 面が全て見渡せる絶景だった。そこには、**「無」** から生まれる尊い価値が存在するように思えた。



心が清められたので（高所恐怖症も解消されたので）、 シドニー へ向かおう！



ニューサウスウェールズ州の州都である シドニー（約 400 万人） は美し

い都市である。シドニーから今回の **オパール** 買付け先の **ライトニングリッジ** へ向かうのだ。



少し買付けに備えよう。シドニー観光はビジネスが成功すれば楽しむと決心した。宿泊先のパークハイアットシドニーで英気を養いながら計画を念入りに練ることにした。準備万全でいよいよ買付け当日を迎えた。シドニーから **セスナ** で現地へ。 **ライトニングリッジ** は、ニューサウスウェールズ州北部、隣接のクイーンズランド州との州境に近い内陸部にある **約20Km四方** の小さな町だ。 **ゴールドコースト** から **約750Km**、 **シドニー** から **約770Km** 離れた場所に位置する。途中給油の為、小休憩。なかなか面白い旅になってきた。(セスナのエンジンが止まりそうな音で度々ドキリ)







ようやく、 **ゴブ** の笑顔に出会えた。しかし、温度計は 40 度を差していた。気温を見て、暑さが増した。 **ゴブ** の案内で、 **オパール鉱山** 内へ。一緒に採掘、ダイナマイトでドカン。日常の事なので、彼は全く慌てない。私も全く慌てないふりをする。(鼓膜が痛かった) 探していた **ブラックオパール** に出会えて、大満足。





ここで、シンプルに 『オパール』 を説明しよう。

正式名を **OPAL** （日本名：蛋白石，化学成分： $\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ ，宝石言葉：希望・幸福・安楽・忍耐・悲哀を克服して幸福を得る・素直な心・歓喜・無邪気・純粹，10月の誕生石） と呼び、モース硬度（押し込み強度）は、**5.5~6.5** である。名前の由来は、宝石を意味するサンスクリット語の「**upala**」が語源。ラテン語の「**opal**」の正式発音は、実は「オパール」ではなく「**オーパル**」だ。



纏わる **物語** としては、**OPAL** は、ローマ皇帝 **シーザー** がこよなく愛した石で、**クレオパトラ** へ「**あなたを心から愛している。**」とのメッセージを込めラブレターのようにプレゼントしたとの言い伝えから「**キューピットストーン**」と呼ばれている。**ギリシア** では、《**オパールの中には愛の天使が棲む**》と伝えられている。

OPAL は、大別して、

- ① ブラックオパール (オーストラリアが主産地・採掘の75%を日本が消費)
- ② ボルダーオパール (オーストラリアが主産地・採掘の75%を日本が消費)
- ③ ホワイトオパール (オーストラリアが主産地・採掘の75%を日本が消費)
- ④ ファイアーオパール (メキシコが主産地・採掘の80%を日本が消費)
- ⑤ ウォーターオパール (メキシコが主産地・採掘の80%を日本が消費)

の 5種類 に分類出来る。

①②③ は、特に プレイオブカラー (遊色効果) が発達した石を選び、あかふ・りょくふ を多く含む希少価値の高い石を選ぼう。

④⑤ も プレイオブカラー (遊色効果) が発達した石を選ぼう。



ライトニングリッジに数日間滞在し、ボブ との親交を深めシドニーへ戻った。



無事大仕事を終えたので、観光だ！

観光名所を巡ったが、シドニー湾のディナークルーズ は印象深かった。  
海の上から見る オペラハウス は圧巻だ。



シドニーは外国の大都市に比べて 『自由』 を感じた。それは、規制の少ないフラットな活動 が許されているのだろう。その活動に秩序がなくなると 垂直型のピラミット的な活動 も要求されるのだろう。企業組織（活動）も同じだ。フラット型組織や官僚型組織 の単独での優劣の議論は余り有益ではなく、大学で学ぶべきものだ。

社会情勢を踏まえたその企業の成長段階

創業期・成長期・繁栄期・維持期・衰退期・滅亡期

と活動規模により、最適な組織を選択すべきである。

時期に適した組織の型を基に イノベーション（改新） を繰り返し、人との違い（人には最期が必ずある）を法人は発揮できるのだ。

